



学会出張での出会い

保健管理センターカウンセリングチーム

梅雨になり、じめじめしたり少し肌寒かったりする季節になってきましたね。私は折り畳み傘をキレイに畳めず、イライラしてしまうので苦手な季節です。みなさんにとっての梅雨はどうでしょうか。

今回は学会出張での出来事をお話します。「え、カウンセラーって学会に行くの?」と疑問に思った方もいるかもしれません。実は、カウンセラーの仕事は相談だけでなく、調査や研究活動も重要な専門業務の一つとされています¹⁾。ですので、年に何度か学会に参加し、研究発表をしたり、発表や講演を聴講したり、研修を受けたりします(各カウンセラーによって参加の目的や頻度は異なります)。

今年の5月末は沖縄での学会に参加しました。沖縄へ行くのは学生時代の卒業旅行以来で、とても楽しみにしていました。沖縄はすでに梅雨入りしていたので、せっかくの沖縄なのに雨は嫌だなと思っていると、台風6号が発生し、なんと沖縄を通過する進路予報が出ました。沖縄に到着し、学会会場につくやいなや、参加者の間では台風の話題で持ちきりです。「航空券の振替どうする?」「何日なら帰れるんですかね」など、学会どころではない心持ちでした。そのような中、沖縄出身の講師の先生が、「沖縄の建物は頑丈にできているので心配ないです」「子どもだけでなく、大人も仕事が休みになるかソワソワするんですよ」と沖縄の台風小話をしてくださり、少しほっとしました。

次の日は研究発表でした。この日は風が強かったものの、滞りなくプログラムが進みました。共同発表者の先生が学会直前に体調不良となってしまう、代わりに私が発表することになり、台風の動向と同じくらい気になりソワソワしていました。そんな時に、知り合い

の先生から「なんくるないさー」と声をかけてもらい、まあどうにかなるかと思いが楽になりました(発表は無事に終えられました)。その後は、台風接近に伴い最終日のプログラムがほとんど中止になりました。当然、航空機も欠航になってしまったので、ホテルに一日中引きこもり、延泊をしました。

どれも私の人生で初めての体験でした。台風の苦勞と一緒に乗り越えた人たちの絆が深まったように感じますし、代理での発表を無事にこなし、フライト変更やホテルの延泊手続きもマスターし、少したくましくなった気がします。また、延泊をしたおかげで、短い時間ですが街の散策もできました。ホテルから近くのビーチへ足を延ばして散策していると、観光客の方が「いい写真撮れたからあげるよ」と私を写した素敵な一枚を送ってくれたり、現地の方が「どこから来たの?」と話しかけてくれておしゃべりをしたり、思わぬ素敵な出会いがありました。今後の人生でもこのような機会はめったにないと思います。色々な意味で、私にとって出会いの多い印象深い学会になりました。

学生のみなさんにとって、「学会発表」を高いハードルに感じる人がいるかもしれません。こんな内容で本当に発表していいのだろうかという不安や、厳しい指摘をされるので怖いといったイメージがある人、実際に発表して悔しい経験をした人もいるかと思います。くじけそうになった時は、発表以外にも少し目を向けてみてください。普段の研究室以外の人と交流したり、ご当地グルメを食べたり、気になる場所へ足を延ばしたり、きっと学会ならではの出会いが待っています。みなさんの学会参加を陰ながら応援しています。

2026年6月26日